

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 5 年 5 月 9 日(2023.5.9)

【公開番号】特開 2023-21457(P2023-21457A)  
 【公開日】令和 5 年 2 月 10 日(2023.2.10)  
 【年通号数】公開公報(特許)2023-027  
 【出願番号】特願 2022-202544(P2022-202544)  
 【国際特許分類】  
     A 6 3 F 7/02(2006.01)  
 【F I】  
     A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】  
 【提出日】令和 5 年 4 月 26 日(2023.4.26)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

20

所定の始動条件の成立を契機として情報を取得する取得手段と、  
 前記取得手段により取得された情報に基づいて判定を行う判定手段と、  
 前記判定手段による判定結果に基づいて表示手段に識別情報の動的表示を実行させる動的表示実行手段と、  
前記動的表示実行手段による前記動的表示の実行中に、該動的表示の演出内容と連動して特定画像を表示する画像表示手段と、を備え、

30

2 以上の動的要素が組み合わせられて実行可能な前記識別情報の動的表示において所定の識別情報が現出された場合に、遊技者に所定の遊技価値を付与する遊技機において、

所定の数を上限として、前記取得手段により取得される情報を記憶する記憶手段と、  
 前記記憶手段に記憶されている情報のそれぞれに基づいて実行される前記識別情報の動的表示の中に、前記所定の識別情報を現出する前記動的表示があるか否かを判断する判断手段と、

前記判断手段による判断結果に関する情報として、前記所定の識別情報が現出し得る期待度を表示可能な第 2 表示手段と、

前記第 2 表示手段の表示要素の態様を、所定の第 1 態様から、前記第 1 態様より前記所定の識別情報が現出し得る期待度が高い第 2 態様に変化させる変化手段と、

前記変化手段によって前記第 2 表示手段の表示要素の態様を前記第 2 態様に変化させる開始時期として、少なくとも、前記所定の識別情報が現出し得る前記動的表示の実行中における複数の開始タイミングの中から 1 の開始タイミングを選択する開始時期選択手段と、  
 前記所定の識別情報が現出し得る動的表示において前記特定画像を現出させるか否かを抽選する画像抽選手段と、

40

前記画像抽選手段による抽選に基づいて前記特定画像を現出させる場合に、前記第 2 表示手段の少なくとも一部と重複するように前記特定画像を現出させる画像現出手段と、

前記動的要素の実行中において、前記開始時期選択手段により前記開始タイミングが選択されている場合において、前記第 2 表示手段の表示要素の態様を前記第 2 態様に変化させる状況であることを判断する状況判断手段と、

前記動的要素の実行中における前記第 2 表示手段の表示要素の態様を前記第 2 態様で表示していない状況において、前記特定画像を現出させる特定現出手段と、

50

前記特定画像の表示に対応させて前記第 2 態様を表示する対応表示手段と、を備え、  
 前記特定現出手段は、  
 実行中の前記動的要素の実行期間よりも短い期間で前記特定画像を現出させ、  
 前記遊技機は、  
 前記第 2 表示手段を前記第 2 態様に变化させた場合において、前記動的表示実行手段により前記動的表示が継続される  
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、所定の始動条件の成立を契機として情報を取得する取得手段と、前記取得手段により取得された情報に基づいて判定を行う判定手段と、前記判定手段による判定結果に基づいて表示手段に識別情報の動的表示を実行させる動的表示実行手段と、前記動的表示実行手段による前記動的表示の実行中に、該動的表示の演出内容と連動して特定画像を表示する画像表示手段と、を備え、2 以上の動的要素が組み合わされて実行可能な前記識別情報の動的表示において所定の識別情報が現出された場合に、遊技者に所定の遊技価値を付与する遊技機であって、所定の数を上限として、前記取得手段により取得される情報を記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶されている情報のそれぞれに基づいて実行される前記識別情報の動的表示の中に、前記所定の識別情報を現出する前記動的表示があるか否かを判断する判断手段と、前記判断手段による判断結果に関する情報として、前記所定の識別情報が現出し得る期待度を表示可能な第 2 表示手段と、前記第 2 表示手段の表示要素の態様を、所定の第 1 態様から、前記第 1 態様より前記所定の識別情報が現出し得る期待度が高い第 2 態様に变化させる変化手段と、前記変化手段によって前記第 2 表示手段の表示要素の態様を前記第 2 態様に变化させる開始時期として、少なくとも、前記所定の識別情報が現出し得る前記動的表示の実行中における複数の開始タイミングの中から 1 の開始タイミングを選択する開始時期選択手段と、前記所定の識別情報が現出し得る動的表示において前記特定画像を現出させるか否かを抽選する画像抽選手段と、前記画像抽選手段による抽選に基づいて前記特定画像を現出させる場合に、前記第 2 表示手段の少なくとも一部と重複するように前記特定画像を現出させる画像現出手段と、前記動的要素の実行中において、前記開始時期選択手段により前記開始タイミングが選択されている場合において、前記第 2 表示手段の表示要素の態様を前記第 2 態様に变化させる状況であることを判断する状況判断手段と、前記動的要素の実行中における前記第 2 表示手段の表示要素の態様を前記第 2 態様で表示していない状況において、前記特定画像を現出させる特定現出手段と、前記特定画像の表示に対応させて前記第 2 態様を表示する対応表示手段と、を備え、前記特定現出手段は、実行中の前記動的要素の実行期間よりも短い期間で前記特定画像を現出させ、前記遊技機は、前記第 2 表示手段を前記第 2 態様に变化させた場合において、前記動的表示実行手段により前記動的表示が継続される。

20

30

40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 1 記載の遊技機によれば、所定の始動条件の成立を契機として情報を取得する取得手段と、前記取得手段により取得された情報に基づいて判定を行う判定手段と、前記判定手段による判定結果に基づいて表示手段に識別情報の動的表示を実行させる動的表示実

50

行手段と、前記動的表示実行手段による前記動的表示の実行中に、該動的表示の演出内容と連動して特定画像を表示する画像表示手段と、を備え、2以上の動的要素が組み合わせられて実行可能な前記識別情報の動的表示において所定の識別情報が現出された場合に、遊技者に所定の遊技価値を付与する遊技機であって、所定の数を上限として、前記取得手段により取得される情報を記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶されている情報のそれぞれに基づいて実行される前記識別情報の動的表示の中に、前記所定の識別情報を現出する前記動的表示があるか否かを判断する判断手段と、前記判断手段による判断結果に関する情報として、前記所定の識別情報が現出し得る期待度を表示可能な第2表示手段と、前記第2表示手段の表示要素の態様を、所定の第1態様から、前記第1態様より前記所定の識別情報が現出し得る期待度が高い第2態様に変化させる変化手段と、前記変化手段によって前記第2表示手段の表示要素の態様を前記第2態様に変化させる開始時期として、少なくとも、前記所定の識別情報が現出し得る前記動的表示の実行中における複数の開始タイミングの中から1の開始タイミングを選択する開始時期選択手段と、前記所定の識別情報が現出し得る動的表示において前記特定画像を現出させるか否かを抽選する画像抽選手段と、前記画像抽選手段による抽選に基づいて前記特定画像を現出させる場合に、前記第2表示手段の少なくとも一部と重複するように前記特定画像を現出させる画像現出手段と、前記動的要素の実行中において、前記開始時期選択手段により前記開始タイミングが選択されている場合において、前記第2表示手段の表示要素の態様を前記第2態様に変化させる状況であることを判断する状況判断手段と、前記動的要素の実行中における前記第2表示手段の表示要素の態様を前記第2態様で表示していない状況において、前記特定画像を現出させる特定現出手段と、前記特定画像の表示に対応させて前記第2態様を表示する対応表示手段と、を備え、前記特定現出手段は、実行中の前記動的要素の実行期間よりも短い期間で前記特定画像を現出させ、前記遊技機は、前記第2表示手段を前記第2態様に変化させた場合において、前記動的表示実行手段により前記動的表示が継続される。これにより、遊技の興趣を向上することができる、という効果がある。

10

20

30

40

50